



DMII-5

USER'S GUIDE



OMNIVAS
Photography and Creative

安全の為に確認下さい

JINBEI DMII-5をご購入いただき誠にありがとうございます。本取扱説明書にはご使用方法および安全な運用に関する重要な情報が記載されています。本書を熟読の上、正しくご利用下さい。またお読みになった後は大切に保管し、必要な時にお役立て下さい。なお本書の無断転載・2次使用を禁止します。

お届け内容

- ①DMII-5 本体 1点
- ②チューブ保護キャップ 1点
(DMII-5 に装着済み)
- ③電源コード 1点

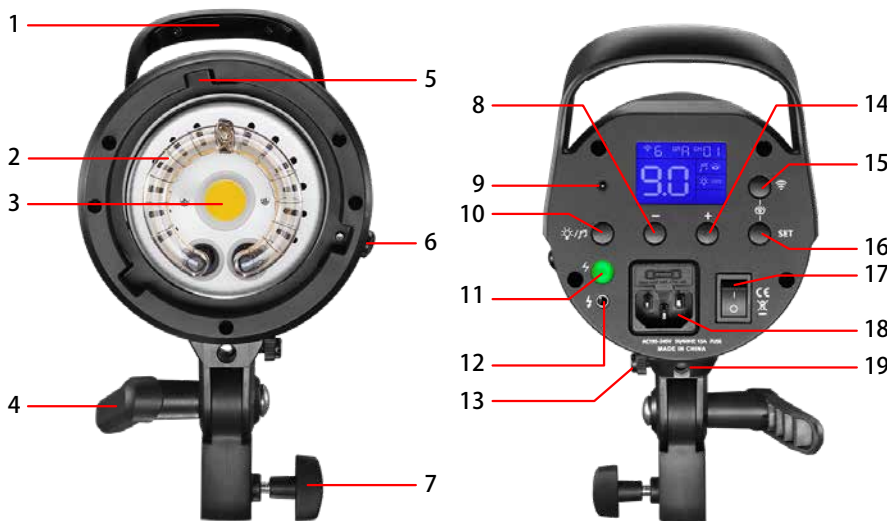
・単品販売品のお届け内容です。
・セット品内容は販売サイトをご確認ください。



スペック

最大出力-----	500Ws (GN64 [別売18cmレフ使用時])	チャンネル----	32チャンネル (0-31)
リサイクリングタイム-----	約1.4秒 [フル発光時 / 60Hz環境下]	グループ-----	16グループ (A/B/C/D/E/F/G/H/I/J/L/O/P/Q/S/U)
調光範囲-----	7f-Stop (9.0-3.0、0.1ステップ)	表示-----	高輝度液晶
色温度 (実測平均) -----	約5,260K	冷却ファン----	内蔵
モデリングランプ-----	15W LED	接続部-----	16mmメスダボ、JINBEI/Bowens互換マウント
シンクロ方式-----	JINBEI無線システム、有線、光スレーブ	サイズ-----	長さ270 x 幅135 x 最大高さ205mm
シンクロモード-----	先幕・後幕 (TR-Q6使用時のみ)	重量-----	約1.5kg

各部名称



1. ティルトリングハンドル
2. フラッシュチューブ
3. 15W LEDモデリングランプ
4. ティルトロックハンドル
5. アクセサリーマウント (BOWENS/JINBEI)
6. アクセサリーマウントロック解除レバー
7. ライトスタンドロックねじ
8. 調節ボタン(マイナス)
9. 光スレーブセンサー
10. 短押し: モデリングランプ設定 (下段のNo.27参照)、
長押し: チャージ完了音ON/OFF
11. テスト発光
12. シンクロケーブルソケット
13. アンブレラ固定ネジ
14. 調節ボタン(プラス)
15. 短押し: 無線モード選択、長押し: 無線機能ON/OFF
16. 機能設定 (GR/CH選択)
17. 電源ON/OFF
18. 電源ケーブル差込口 (上部にヒューズケース有り)
19. アンブレラホール (8mm)

LCDパネルメニュー名称



20. 無線アイコン: 表示中のみ無線による操作が可能 (ボタン15の長押しでON/OFF)。
21. 無線機選択: C→N→S→F→7→6→0 (ボタン15と調節ボタン±で設定、下表参照)。
22. 出力値: 3.0 (1/64) ~ 9.0 (フル発光)、調節ボタン±にて0.1刻みで設定。
23. グループ: 16グループ (ボタン16の [2 回押し] と調節ボタン±で設定)。
24. チャンネル: 0~31 (ボタン16の [1 回押し] と調節ボタン±で設定、全32チャンネル)
25. チャージ完了音: ON/OFF (ボタン10の長押しで設定)。
26. 光スレーブ: ON/OFF (ボタン15と16を同時長押しで設定)。
光スレーブON設定時、無線による発光不可 (出力調整等は可能)。
27. モデリングランプ: 消灯→出力連動→100%点灯 (ボタン10で設定)。
28. 発光設定: 数字なし→1→2 (ボタン16の長押しと調節ボタン±で設定。[数字なし]は通常毎回発光、[1]は奇数回時のシンクロで発光、[2]は偶数回時のシンクロで発光)。

C	: TR-Q6C (キャノン用)
N	: TR-Q6N (ニコン用)
S	: TR-Q6S (ソニー用)
F	: TR-Q6F (フジ用)
7	: TR-Q7
6	: TR-V6
0	: TRS-V

基本操作

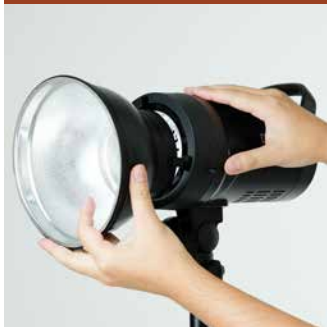
- ① **アクセサリをセット** ライトスタンドにセットする。リフレクター、傘、ソフトボックスなど、必要なアクセサリを装着。
- ② **電源コードを接続** 付属の電源コードを [18] に接続。国内AC100Vコンセント推奨。
- ③ **電源ON** 電源スイッチ [17] をONにする。
- ④ **設定・利用** 本書各項を参考に、各機能を設定する。
- ⑤ **電源OFF** 電源スイッチ [17] をOFFにする。コンセントの抜き差しで電源のON/OFFをしない。



アンブレラの装着について

※下記写真は旧型品『DM-5』での使用例となりますが、リフレクターの装着方法、アンブレラの差し込み時の注意事項等は同様となります。

1.リフレクターを装着する



マウントの爪と溝を合わせて挿入し、向かって時計回りにリフレクターを回す。「カチッ」とロック音が聞こえたら固定完了。

※JINBEIマウントのその他アクセサリ(ソフトボックス等)も同様に装着できます。

2.リフレクター位置確認



ストロボ本体のアンブレラホール(19番)と、リフレクターのアンブレラホールの位置が合致している事を確認する(図の破線参考)。

3.アンブレラを装着する



ストロボを片手で抑え、アンブレラの芯を「リフレクターとストロボ本体」のアンブレラホールに挿入する。アンブレラ固定ネジでアンブレラの芯をロックして、アンブレラが前後にずれないかを確認する。

【完成図】



芯の固定位置(深さ)によって、光質が変わります。

〈アンブレラの形状に関して〉



アンブレラ芯の先端が直角になっているものは、若干装着しづらい場合があります。

無線設定方法 (TR-Q6 for Canon/Nikon/Sony/Fujifilm)

操作手順	操作ボタン	操作内容	
①無線設定	15, 8, 14	ボタン15を長押しして無線機能を有効にし、調節ボタン8、14にて無線モードを「C/N/S/F」から選択。	
②CH/GR設定	16, 8, 14	ボタン16を押してCH、またGRを選択状態にし、ボタン8と14で任意の値に設定。	
③その他設定	10	ボタン10を長押ししてチャージ完了音を設定。	

※出力設定等はリモコン側の設定値で書き込まれます。
 ※リモコンでモデリングランプのON/OFFが可能です。

無線設定方法 (TR-Q7 / TR-V6)

操作手順	操作ボタン	操作内容	
①無線設定	15, 8, 14	ボタン15を長押しして無線機能を有効にし、調節ボタン8、14にて無線モードを「7 (TR-Q7使用時)」または「6 (TR-V6使用時)」を選択。	
②CH/GR設定	16, 8, 14	ボタン16を押してCH、またGRを選択状態にし、ボタン8と14で任意の値に設定。	
③その他設定	10	ボタン10を長押ししてチャージ完了音を設定。	

※出力設定等はリモコン側の設定値で書き込まれます。
 ※リモコンでモデリングランプのON/OFFが可能です。

機能特徴・注意事項

◆出力値を下げると自動発光（放電）します

ストロボの出力値を下げた際、コンデンサに充電された電気を放電させるために自動発光します。

例) 出力値を7.0→5.0に下げた際、7.0の出力で1度発光します。

また出力やチャンネル、グループ設定等で「調整ボタン（マイナス）」を連続して押すと発光する場合があります。ご注意ください。

◆**光スレーブ機能使用時は無線での発光不可**：光スレーブ機能をON（背面モニターに目玉マークが表示される）にすると、ラジスレーブ『TR-シリーズ』による無線シンクロ発光ができません（出力調整等は可能）。また光スレーブ機能をONにしたまま電源を切ると、再起動時は無線設定がOFF表示となります。ご注意ください。

◆**再起動時の背面パネル設定値**：背面パネルにて設定を変更後、すぐに電源をオフにすると設定値が保存されない場合があります（再起動時に変更前の設定値が表示される）。その際は設定を変更後、3-4秒待つてから電源をオフにしてください。

◆**トリガー（無線機）使用時の出力制限**：一部のCanon機等において、カメラのドライブモードが「連写」の時、ストロボの最大出力値が4.0等に制限される場合があります（チャージ不足での発光を防ぐため）。ドライブモードを「1枚撮影」にてご使用ください。

◆**カメラ機能による誤作動**：一部カメラ（SONY機など）において、「赤目軽減」、「AF補助光」、「ワイヤレスフラッシュ」機能がONになっていると、ストロボやリモコンが正常に動作しない場合があります。挙動が不安定な場合はそれら機能をOFFにした後にお試しください。

◆**Wireless JINBEI TR（無線）**：国内認証取得のシステムです。

◆**OverHeatProtection（安全回路）**：内部温度計で常時計測し、オーバーヒート時には自動的に機能を停止します。OHの表示が現れたら、通常温度になるまで使用しないで下さい。その際、電源を落とさないで下さい（冷却ファンを止めないため）。

エラー表示に関して

[OH]： 内部回路のオーバーヒート。電源ONのまま、発光させない状態で5~15分ほど冷却時間をおいてください。

[OF]： 連続発光時の保護回路動作。電源ONのまま、発光させない状態で5~15分ほど冷却時間をおいてください。

[OU/OT]：セルフテストでのエラー表示。販売店へお問い合わせください。

安全にご使用いただくために

- ⚠ 可燃性液体が接触する可能性のある環境、雨天時や水中のご利用、保管は禁止です。
- ⚠ 強磁界、及び粉塵の多い環境でのご利用、保管は避けて下さい。
- ⚠ 結露を防ぐため、温度変化の激しい場所や炎天下の車中などでのご利用、保管は避けて下さい。
- ⚠ フラッシュチューブやモデリングランプは素手で触らないで下さい。
- ⚠ 筐体内への金属パーツの混入等にお気をつけ下さい。
- ⚠ 濡れた手や濡れた布で製品に触れないで下さい。感電の恐れがあります。
- ⚠ 分解、改造、修理は禁止です。これらの形跡が認められた場合、保証期間は無効になり全ての保証対象外となります。
- ⚠ 使用する前に、ティルトハンドルをしっかりと締めてください。
- ⚠ 被写体の至近距離での発光は健康被害を引き起こす恐れがあります。絶対におやめ下さい。

その他、ご利用上の注意

- ◆無償保証期間は1年間です
- ◆各部のネジは締めすぎないようにご注意ください。ネジが破損する場合があります
- ◆プラグの抜き差しはプラスチック部分をしっかり持ってゆっくり行ってください
- ◆コードを引っ張る等の行為は絶対におやめください
- ◆小さいお子様の手の届かない環境で運用してください
- ◆ご使用方法や環境次第ではスペック通りの性能が引き出せない場合があります
- ◆無償保証期間は当製品の耐久性を保証するものではありません
- ◆オムニバスを含む弊社契約店以外からのご購入品は保証対象外です。



合同会社OMNIVAS（オムニバス） <http://store.omnivas.jp> info@omnivas.jp